

特殊詐欺被害の発生状況

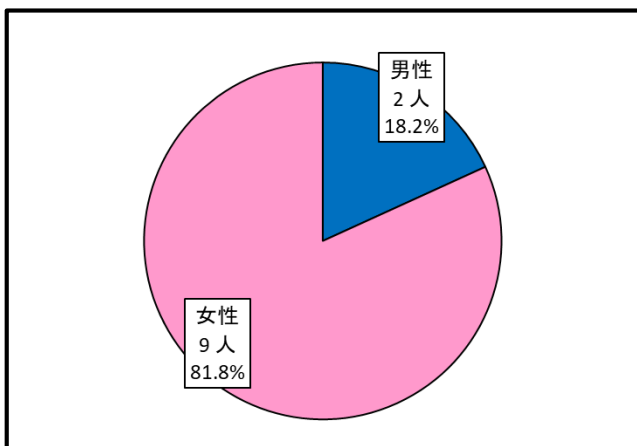
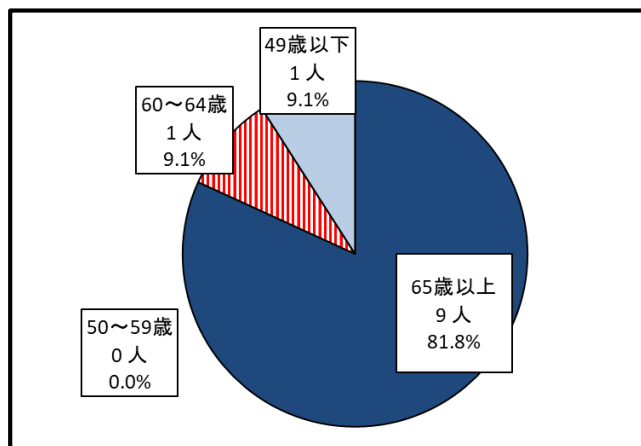
令和6年2月末 県内の特殊詐欺の被害発生状況

	発生件数	前年同期比	被害額	前年同期比
特殊詐欺全体	11件	-13件	約9,280万円	+約5,090万円
オレオレ詐欺	2件	-8件	約8,560万円	+約5,740万円
預貯金詐欺	4件	+2件	約390万円	+約350万円
架空料金請求詐欺	4件	+2件	約240万円	+約150万円
還付金詐欺	0件	-10件	0円	-約1,240万円
融資保証金詐欺	0件	±0件	0円	±0円
金融商品詐欺	0件	±0件	0円	±0円
ギャンブル詐欺	0件	±0件	0円	±0円
交際あっせん詐欺	0件	±0件	0円	±0円
その他	0件	±0件	0円	±0円
キャッシュカード [※] 詐欺盗	1件	+1件	約90万円	+約90万円

※ 件数・被害額は暫定値。令和2年から特殊詐欺は上記10類型に分類されました。

※ オレオレ詐欺とは親族や警察官等を装って、親族の事件事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取るもので、預貯金詐欺とは警察官等を装って電話をかけ、キャッシュカード等をだまし取るもの、キャッシュカード詐欺盗とは警察官等を装って電話をかけ、キャッシュカード等を準備させて隙を見て盗み取るもの

被害者の年齢・性別



特殊詐欺の被害者は、65歳以上の方が9人(81.8%)と高い割合を占めています。男女別では9人(81.8%)が女性となっています。

